

2024 年度 学外者（卒業生の就職先等）への意見聴取報告書

1. 意見聴取日及び対象者

- (1) 7月29日(月) 道内私立高等学校 校長
- (2) 8月1日(木) 道内社会福祉法人 管理職
- (3) 8月1日(木) 地方自治体(教育系) 主事

2. 本学の卒業生に対する評価、学生に期待すること、教育成果、社会が求めている能力等について(主な意見)

・特別支援教育の広がり

現代では特別支援教育の枠を超えて「困りごと」を抱える人が多い。そのため、支援する知識を学ぶ機会を持つことは北星学園出身者の強みとなる。

・教育の特色と価値観

北星学園の教育は「共に」という価値観が特徴的で、キリスト教に基づく教育が他者との協働や課題解決に反映されている。

・英語教員のさらなる成長

北星出身の英語教員は優秀だが、語学力だけでなく授業設計や指導力も高める必要がある。

・現場での学び

学生が教育現場を早期に経験し、現職教員と学ぶ機会を活用することは効果的。

・求められるコミュニケーション能力

現代の若者は手堅いコミュニケーション能力を持つ者が多く、自己開示や意見表明のスキルが不足している。これらを大学で重点的に養う必要がある。

・柔軟な視点とキャリア教育

即戦力志向ではなく、視野の広さや柔軟性を持つことが重要。キャリア教育を通じて、学生時代の学びと社会の現実のギャップを埋めることが必要。

・国際性と異文化理解

海外留学以外にも、留学生との交流やキャンパスでの多文化体験を通じて国際感覚を養い、異文化理解に基づいた課題解決能力を期待。

・教育や福祉の課題解決

大きな解決を求めるのではなく、小さな成果を積み重ねていくことが重要。

・大学で育むべき人間性

「自分を持つこと」が人間性の本質であり、大学の学びの中でそれを少しでも形にしていくべき。

以上